



塩浜地区社会福祉協議会 総会開催 組織・事業計画の見直し



塩浜地区社会福祉協議会

会長 今村 将人

こんにちは、塩浜地区社会福祉協議会・会長を務めさせて頂いております。

近年の社会情勢を見ていますと、少子化に歯止めが掛からず国会も良い対策案を打ち出すことができず、少子高齢化がますます増えていくかと考えられます。

この状況下で塩浜地区でも各種団体役員のなり手不足や各団体への業務負担を考えてみると、ここで改善しておかないと各団体が共倒れになると思います。そこで要となる連合自治会、民生委員児童委員、社会福祉協議会の三者で相談をし、まずは社会福祉協議会の部の構成及び人員構成を見直すことと、事業計画の見直しと少人数体制を構築することで事業に対する業務負担を低減することにいたしました。

これに関しては規約の改訂見直しも必要で、五月十七日の塩浜地区社会福祉協議会の総会で組織・事業計画を縮小見直し、提案して御承認頂き現在に至っております。

しかしながら、まだまだ改善する必要があるかと思いますが、この一年間で少しでもあるべき姿に近づけるようにしたいと考えています。皆様には御不満や御迷惑をお掛けするとは思いますが、温かく見守って頂けると幸いです。最後になりますが、成り手不足の解消には皆さんの参加協力が必要なので宜しくお願いいたします。

編集発行：塩浜地区社会福祉協議会 文化体育事業



塩浜地区HP

塩浜地区の人口 総数5,910人/男3,014人/女2,896人/世帯数3,257世帯 (2024年6月現在)

地域の皆さまとともに



塩浜中学校
教頭
川上 慎治

本年度4月より、塩浜中学校に赴任いたしました教頭の川上慎治と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

四月から勤務している中で、この塩浜中学校は、地域の皆さまにたくさん支えていただいております。その中で子どもたちがはぐくまれていることを日々実感しています。この恵まれた地域の教育資源を有効に活用しながら、学校教育活動が進められていることも少しずつわかってきました。

先日、塩浜中学校コミュニティスクール運営協議会で委員さんから「生徒数が増えることは難しいが、塩浜地区の良さをいかして、特色ある活動をどんどんやってほしい」というご意見をいただきました。

塩浜中学校1年生による磯津海岸清掃とゴミ調査



2024
6/3



地域とともに



塩浜小学校
教頭
山本 奈央

今年度より、塩浜小学校に教頭として着任しました山本奈央と申します。

毎朝、登校してきた子どもたちが職員室の前を通る時、窓越しに「おはようございます！」と元気な声であいさつをしてくれます。気持ちのよい朝の日課のおかげで、いつも笑顔で一日のスタートを切ることができています。

体育館前にあるキッズ農園では、地域ボランティアのみなさんにお世話になり、いろいろな野菜を育てています。

さとの原風景」でした。

この素敵なまち塩浜で、地域の皆様の絆の深さ、まちへの愛着を感じながら、たくさんお話を伺い、市政につなげる役割を担っていききたいと思っています。



塩浜で励む



塩浜地区市民
センター
地域マネージャー
松元 慎二

今年度より塩浜地区市民センターの地域マネージャーに就きました松元です。

以前は地域マネージャーの事を全く知りませんでした。御園町二丁目・柳町自治会長として市民センターに訪れた際に、前任者からマネージャーの仕事について話を聞き知りました。また、その頃の私は自治会長としての知識も経験も浅く、自身の仕事とも相まって、焦りと不安で困惑することも多々ありましたが、町内の協力と連合自治会および市民センターからの助言と支援を受け、徐々に自治会の役割

よろしく塩浜

でみたりと、子ども自らが主体的に活動できるようにしています。

未就園児の親子を対象に毎週金曜日に「なかよし会」を開催させていただいております。「なかよし会」は未就園児の親子のどなたでも遊びに来ていただけます。ご近所に子育て中の方がみえましたら、ぜひお誘いください。

今後も保護者の皆さま、地域の皆さまと連携を図りながら、「笑顔あふれる磯津保育園」をめざし職員一同力を合わせていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

ふるさと四日市の象徴 赤白の煙突しおはま



塩浜地区市民
センター
館長
鈴木 要

本年四月から塩浜地区市民センター館長を拝命しました

鈴木要と申します。縁あって塩浜地区の一員(?)に加わることとなりました。よろしくお願ひいたします。

今回この原稿をご依頼いただき、ふと幼いころの記憶が蘇ってきました。私はいつも、近鉄電車での帰り道に鈴鹿川の鉄橋を渡り、赤白の煙突や塩浜駅が見えてくると「えんとつただいま。四日市だいま。」と言っていたのです。幼いながらにこの景色にほっとしていたのだと思います。

電車通勤の今は、塩浜駅に降り立ち、地区市民センターまでの道のりを歩いています。また、昼休みにはセンター周辺を、夕暮れ時には防犯パトロールで地区内を歩いたりします。空き家や空き地もありますが、素敵なお寺や神社がたくさんあり、心休まる町並み。電車の音を聞きながら、車がたくさん通る大きな道を渡ると、向こう側には日本有数のコンビニート。頑張ってもう少し歩くと見える鈴鹿川。その先には磯津の海。

毎日仕事で来ている日常の場所のほずなのに、毎日少しずつ心が穏やかになっていく気がします。

私にとって塩浜地区は「ふるさと四日市の象徴」、「ふる

塩浜まちづくり協議会のホームページをリニューアルしました!!



地域のニュースや写真をドンドン掲載していきます。

皆さんぜひご覧くださいね!!

「塩浜まちづくり協議会ホームページ」のQRコードです。



先日は、玉ねぎとにんにく、ジャガイモの収穫体験をすることができ、子どもたちは大喜びでした。秋にも収穫体験ができるようにと、次の準備も万端です。地域の方には、校区内の地区探検や防災に関わる授業をしていただく予定です。夏の奉仕作業には毎年、保護者のみなさまだけでなく、地域の方々、近隣企業の方々にも参加していただいているとのこと。塩浜小学校は、たくさんの方々を支えられ、温かく見守っていただいているのだと日々感じています。

今後、本校の学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、進んで行動する子どもを育てる」ために、保護者のみなさま、地域のみなさまとともに、校長を中心に職員一同「チーム塩浜」で取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

笑顔あふれる磯津保育園



磯津保育園
園長
濱 啓子

今年度より、磯津保育園に赴任してきました濱です。

地域の皆さまにはいつも温かいまなざしや心遣い、お言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、磯津保育園には一歳児から五歳児までの三十七名の子どもたちが元気に過ごしており、「みつけよう つながろう」をテーマに日々保育を行っています。テーマの中には、「楽しいことを見つけよう」「友だち、保護者、地域の人とつながろう」などの思いを込めています。

みんなで育てている夏野菜に水をあげたり、砂場で友だちと協力して山を作ったり、季節の物が調理されている給食を食べたりして、子どもたちは生活やあそびを通して様々な体験をしています。様々な体験を通して、興味関心を広げたり、また一つのことをとことん取り組ん

に帰ると気心の知れた同級生との再会もあり、故郷のあたたかさをづくづく感じました。

ただ、思い出のある商店は減り、雑踏や声々は薄れ、夜の町中には寂しささえ感じました。

近年、塩浜の人口は半減し少子高齢化が進み、以前のような活気あふれる塩浜は遠くなりましたが、自治会長として勤めた六年間の経験を活かし、地域住民とのふれあいを大切にして、微力ですが地域への貢献を目標にこの塩浜の地で励んで参ります。よろしくお願ひいたします。

第11回社協会長杯 GG大会優勝者

2024
5/26





Go! 塩浜っ子



★ 海山道保育園 ★



避難
訓練

避難車に初乗り！ 災害来ないといいね！！



帽子を被って避難！
じょうずに避難できたね！



★ 塩浜こども園 ★



塩浜公園に遊びに行ったよ



こども園のやまももで、ジュース作り

★ 磯津保育園 ★



さつまいもの苗を植えました。早くおいもがたべたいな



ペタペタ、とろとろ、いろいろな感触がするね